

# —記者発表資料—

平成22年11月4日

日本下水道事業団

## 平成22年度 日本下水道事業団表彰について

日本下水道事業団（J S）は、毎年当事業団の創立記念日（11月1日）にあわせて日本下水道事業団表彰として、（1）優良工事表彰、（2）優良設計表彰、（3）功労者（個人）表彰の各表彰を行っています。今年度は、下記の日時、場所において表彰を行います。

なお、各表彰の詳細については別紙のとおりです。

### 記

日 時	： 平成22年11月9日（火）	10：30～	（1）優良工事表彰
			（2）優良設計表彰
		11：30～	（3）功労者表彰

場 所： 本社 表彰式々場（4階）

以上

# —記者発表資料—

平成22年11月4日

日本下水道事業団

## (1) 優良工事表彰について

日本下水道事業団（J S）は、当事業団が発注し前年度に完成した工事に関し、その施工が優秀であって他の模範となる工事を毎年度優良工事として選定し、当該工事の施工業者を表彰することにより、施工業者の育成及び事業の円滑な推進を図っています。

平成22年度の優良工事は別添資料-1及び2のとおりであり、当該工事の施工業者を日本下水道事業団表彰規程に基づき、平成22年11月9日（火）に当事業団本社において表彰します。

なお、今回の優良工事選定の対象となった完成工事及び選定された工事の件数は、次のとおりです。

選定対象工事件数及び優良工事件数

工 種	対象となった工事の件数	優良工事件数
土木建築工事	222	6
機 械 工 事	271	5
電 気 工 事	231	3
合 計	724	14

### 【お問い合わせ先】

日本下水道事業団

品質管理センター次長 青木 実

〒160-0004

東京都新宿区四谷三丁目3-1富士・国保連ビル

TEL:03-6361-7836(ダイヤルイン)

FAX:03-3359-6380

別添資料－1 優良工事一覧表

No.	委託団体	工事名	工期自	工期至	請負代金額 (税込：千円)	施工業者名	担当 総合事務所
1	山形県	最上川流域下水道山形浄化センター 電気設備工事その2 2	平成21年09月01日	平成22年03月25日	133,255.5	株式会社明電舎	東北
2	東京都	東京都勝島ポンプ所雨水ポンプ棟 建設工事その1 0	平成20年11月22日	平成22年03月12日	500,808.0	前田建設工業株式会社	関東・北陸
3	新潟県 新潟市	新潟市中部下水道処理場 水処理設備工事	平成20年07月01日	平成22年03月19日	3,749,791.5	メタウォーター株式会社	関東・北陸
4	長野県 伊那市	伊那市伊那浄水管理センター 電気設備工事その9	平成21年03月10日	平成21年12月18日	465,003.0	シンフォニアエンジニアリング株式会社	関東・北陸
5	千葉県 習志野市	習志野市津田沼浄化センター 建設工事その1 8	平成21年03月24日	平成22年02月26日	462,924.0	旭建設株式会社	関東・北陸
6	栃木県 宇都宮市	宇都宮市奈坪中継ポンプ場 水処理設備工事	平成20年12月03日	平成22年03月18日	105,031.5	扶桑建設工業株式会社	関東・北陸
7	長野県 伊那市	伊那市伊那浄水管理センター 水処理設備工事その7	平成20年11月13日	平成21年12月18日	196,444.5	三機工業株式会社	関東・北陸
8	岐阜県 中津川市	中津川市浄化管理センター 電気設備工事その6	平成20年02月09日	平成21年05月29日	91,602.0	三菱電機株式会社	東海
9	愛知県 知多市	知多市南部浄化センター 建設工事その1 4	平成21年01月27日	平成22年03月19日	241,920.0	鈴中工業株式会社	東海
10	岡山県 瀬戸内市	瀬戸内市長船中央汚水幹線 建設工事その3	平成20年09月23日	平成21年07月31日	189,283.5	大森工務店・前田開発特定建設共同企業体	近畿・中国
11	和歌山県 御坊市	御坊市塩屋浄化センター 建設工事	平成19年11月21日	平成21年05月29日	502,740.0	小池・谷口特定建設共同企業体	近畿・中国
12	京都府 綾部市	綾部市綾部浄化センター 汚泥処理設備工事その2	平成20年09月23日	平成21年12月25日	92,494.5	藤吉工業株式会社	近畿・中国
13	福岡県 久留米市	久留米市北野中継ポンプ 場建設工事	平成20年08月13日	平成22年01月29日	458,167.5	梅林・金子特定建設共同企業体	九州
14	福岡県 宗像市	宗像市宗像終末処理場 水処理設備工事その5	平成20年09月26日	平成22年02月26日	295,018.5	株式会社I H I 環境エンジニアリング	九州

## 別添資料ー2 優良工事紹介

### 1. 最上川流域下水道山形浄化センター電気設備工事その22

#### [工事概要]

山形浄化センターは、標準活性汚泥法を採用し、平成4年 2 月に供用開始している。処理能力は、全体 210,000m<sup>3</sup>/日、既設 90,000 m<sup>3</sup>/日である。

本工事は、自家発電設備の増設工事である。

#### [選定理由]

特に、工期が短いこともあり、受注後、社内にてプロジェクトチームを立ち上げ、製作工程、購入計画、現場施工計画について検討を行ない工期の短縮を図った。

また、異なるメーカーの発電機部門の撤退があり、既設エンジンに対してプロジェクトチームで対応し、既設についても100%負荷試験を実施し、並列運転の既設エンジンの調整など品質管理についても事前に検討を重ねた。

以上のように、優れた創意工夫により工事の品質を向上させた本工事を、優良工事として選定した。

### 2. 東京都勝島ポンプ所雨水ポンプ棟建設工事その10

#### [工事概要]

東京都勝島ポンプ所は、平成23年度一部稼動予定である。雨天時放流量は24,444.m<sup>3</sup>/秒である。

本工事は、ポンプ所の地下4階・地上3階・延床面積 10,636m<sup>2</sup>、最深 26.4m、高さ 17.3m、階高 10 mの発電機室および消音機室での防音工事、全棟内への換気用ダクト設備、火災報知設備等の機器類設置等、建築仕上げ・機械設備・電気設備工事である。

#### [選定理由]

雨水棟・汚水棟・連絡管渠を含めた大規模プロジェクトであるため、作業員への安全指導、現場周辺の管理、気象の監視システム構築等、緊急時に備え、徹底した安全管理をし、各職種間で協力して作業にあたり、無事故無災害を達成した。

輻輳する現場において、工事関係者をとりまとめ、また委託団体や関係機関への対応も代表して行う等、勝島プロジェクトの事業推進に大きく貢献した。

以上のように、安全管理と人的対策において、特に優れていた本工事を、優良工事として選定した。

### 3. 新潟市中部下水処理場水処理設備工事

#### [工事概要]

中部下水処理場は、昭和55年7月に供用開始をしている。合流式の処理場で、計画汚水量は179,700m<sup>3</sup>/日(雨天時時間最大 574,400m<sup>3</sup>/日)である。

本工事は、合流改善事業の一環として、雨天時時間最大下水量 359,200m<sup>3</sup>/日の高速ろ過設備を導入し、既設 6 系列のうち 4 系列の最初沈殿池を改築して同設備を設置するものである。

〔選定理由〕

運転中の処理場の大幅な改造工事であった。処理機能を保ちながらの困難な工事を創意工夫し、綿密な調査と関係者間の協議を行なうことで確実に施工した。SPRIT21での最新技術を導入することで、新潟市立案の合流改善計画を概ね達成する施設を、困難な施工条件の下、工期内に手戻りなく、良好な出来ばえで完成させた。

以上のように、優れた技術で難工事を克服した本工事を、優良工事として選定した。

#### 4. 伊那市伊那浄水管理センター電気設備工事その9

〔工事概要〕

伊那浄水管理センターは、平成5年3月に供用開始している。処理能力は、全体25,380 m<sup>3</sup>/日、既設10,500 m<sup>3</sup>/日である。

本工事は、2,480 m<sup>3</sup>/日の水処理施設の増設と自家発電設備の増設、ならびに監視制御設備の改築更新工事である。

〔選定理由〕

機械設備工事との輻輳した同時施工を、充実した安全管理体制で、創意工夫し無事故・無災害で完成させた。稼働中の水処理設備及び汚泥処理設備など既設設備の停止を伴う作業の短縮化に努めた。維持管理者と綿密な事前協議を行ない、効率的で安全・確実な作業のための適切な人員配置と創意工夫、管理をし、時間短縮を達成した。

以上のように、創意工夫により、稼働停止期間を短縮し、処理場機能への影響を最小限に抑えた特に優れた本工事を、優良工事として選定した。

#### 5. 習志野市津田沼浄化センター建設工事その18

〔工事概要〕

津田沼浄化センターは、昭和59年に一部供用開始している。処理能力は、全体78,256 m<sup>3</sup>/日、既設59,600m<sup>3</sup>/日である。

本工事は、耐震補強工事、耐震壁増し打ち工法を16面、外部改修工事、屋上防水の改修、外部建具の撤去・新設、外壁ひび割れUカットシール、外壁塗装、内部改修工事、図示部の建築・機械・電気工事の改修、及びアスベスト除去工事を行う改修工事である。

〔選定理由〕

稼働している中での大規模なアスベスト撤去・改修工事であり、計画段階から維持管理者と施工内容や工程等の綿密な打ち合わせを行ない、維持管理スペース及び動線の確保に細心の注意を払い、維持管理作業に支障がないように施工を進め、アスベスト除去に関する養生は毎日点検し、安全確認を行なった。

また、送風機、ダクトの撤去・新設工事においては、仮設換気設備計画を提案し、既設設備に支障をきたすことなく施工を進めた。

以上のように、創意工夫について、特に優れていた本工事を、優良工事として選定した。

## 6. 宇都宮市奈坪中継ポンプ場水処理設備工事

### 〔工事概要〕

奈坪中継ポンプ場は、平成 22 年 4 月に供用開始している。処理能力は、全体 0.189m<sup>3</sup>/秒である。

本工事は、既設の奈坪台マンホールポンプ場を切り替え、新規中継ポンプ場(今回 0.064m<sup>3</sup>/秒)を建設し移行させる機械設備工事である。

### 〔選定理由〕

施設周辺は閑静な住宅街であり、周辺道路は小学生の通学路への適切な対応。丁寧な住民説明と、隣接するゲートボール場を埋め立てた作業スペースの確保など、仮囲いや、作業員への安全周知に至るまで、住宅地における作業への特段の配慮を実施し、施工も良好であった。

以上のように、周辺環境・住民対策において、特に優れていた本工事を、優良工事として選定した。

## 7. 伊那市伊那浄水管理センター水処理設備工事その7

### 〔工事概要〕

伊那浄水管理センターは、平成5年3月に供用開始している。処理能力は、全体 25,380 m<sup>3</sup>/日、既設 10,500 m<sup>3</sup>/日である。

本工事は、2,480 m<sup>3</sup>/日の3系水処理施設(メンブレンパネル式散気装置ほか)及び送風機設備等の増設工事である。

### 〔選定理由〕

課題であった既設エアレーション装置と、本増設エアレーション装置との違いによる水処理系列毎の風量バランス調整方法を克服した。また、維持管理に十分配慮した提案を行ない施工を実施した。

以上のように、総合的品質・維持管理性向上について、特に優れていた本工事を、優良工事として選定した。

## 8. 中津川市浄化管理センター電気設備工事その6

### 〔工事概要〕

中津川市浄化管理センターは、平成元年 3 月に供用開始している。処理能力は、全体 19,400m<sup>3</sup>/日、既設 19,400m<sup>3</sup>/日である。処理方式は酸素活性汚泥法、汚泥処理方式は重力濃縮方式である。

本工事は、既設 9,700m<sup>3</sup>/日の1系水処理施設の更新(機械工事)にともなう電気設備の更新工事であり、その他関連工事として躯体改修・防食(土木工事)がある。

### 〔選定理由〕

既設運転操作設備の改修では、運用への影響から、設備によっては、停止できる時間が数時間に限定されていた。停止時間短縮のため、他工種や委託団体との綿密な調整を行なった。水質計器取替えについては、既設を移設して、仮設として使用することを提案、結果、委託団体の要望通りに工期内に工事を終えることができた。

以上のように、施工内容と現場の諸条件を十分理解した創意工夫によって、稼働停止期間を短縮し、処理場機能の影響を最小限とした特に優れた本工事を、優良工事として選定した。

## 9. 知多市南部浄化センター建設工事その14

### 〔工事概要〕

知多市南部浄化センターは、昭和 54 年から着手し、昭和 58 年 4 月に一部を供用開始している。処理能力は、全体 45,500 m<sup>3</sup>/日、既設 41,150 m<sup>3</sup>/日である。

本工事は、6 系列中 5 系列を稼働させながら 3-1 系列を改造する工事である。

### 〔選定理由〕

各槽床版の取壊しでは、1.0m×1.2m 程度の寸法にて切断し、場外に吊上げて出し、小割した。場内取壊し作業を最小限にし、粉塵の発生を最小限にすることができた。分水槽流入水路の仮壁では、漏水の完全遮断のため、4 分割の鉄板と、背後に仮コンクリート壁を設置する対策とした。防食塗装工事箇所の断面回復については、最も安価となる施工方法を提案し、施工した。

以上のように、創意工夫と工事費の削減への取り組みにおいて、特に優れた本工事を、優良工事として選定した。

## 10. 瀬戸内市長船中央汚水幹線建設工事その3

### 〔工事概要〕

瀬戸内市長船中央汚水幹線は、長船中央処理区の幹線として整備しているものである。

本工事は、推進工 HP φ 250mm L=410m VP φ 150～300mm L=550m 開削工 Vu φ 150mm L=340mを整備する工事である。

### 〔選定理由〕

設計時の地質調査から小さな礫層を確認した泥水式推進工法であった。提示された土質柱状図を照査し、さらに近隣工事等の調査や立抗予定地における試掘も行なった。土質柱状図に示された最大径(30mm)より大きい砂礫の存在が疑われ、さらに追加ボーリングを行なった結果、最大径が 200mm 程度の砂礫層の存在が判明、泥水式推進機を対応可能な仕様に変更した。施工条件を十分に調査、確認し、適切な提案と調整を行なうことで、工期内に良好な出来栄で完成させた。

以上のように、難工事を克服した施工条件確認において、特に優れていた本工事を、優良工事として選定した。

## 11. 御坊市塩屋浄化センター建設工事

### 〔工事概要〕

塩屋浄化センターは、平成 23 年 4 月の供用開始に向け、工事着手したものである。処理能力は、全体 2,600m<sup>3</sup>/日である。

本工事は、第 1 期施設として、全体処理施設能力 1/2(1,300m<sup>3</sup>/日)の水処理施設を建設する工事である。

### 〔選定理由〕

造成用地の軟弱地盤層について、チェックボーリングによる沈下予測と沈下収束時期を想定した。盛土後も、沈下計により沈下測定をし、予測値との差異を確認した。そして、プレロード土砂の撤去時期が適正か確認しながら構造物の築造を慎重に行なった。また、造成用の土砂を含め約 2 万 m<sup>3</sup> の必

要な土砂について、工事間流用とし、近隣の採掘場から運搬よりも工事費の削減を行なった。

以上のように、現場での調査と創意工夫・工事費の削減において、特に優れていた本工事を、優良工事として選定した。

## 12. 綾部市綾部浄化センター汚泥処理設備工事その2

### [工事概要]

綾部市綾部浄化センターは、平成7年3月に供用を開始し、現在水処理は2系列が供用している。処理能力は、全体11,100m<sup>3</sup>/日、既設6,200m<sup>3</sup>/日である。汚泥処理は、既設として重力濃縮槽1槽、汚泥脱水機1台である。

本工事は、汚泥脱水機1台の増設工事である。

### [選定理由]

地震や、事故等の万一の事態を想定し、耐震構造計算に基づく対策や、機器の安全管理や作業員の安全指導をし、十分な事前対策を行なった。施工にあたっては、狭いスペースでの機器及び配管サポートの配置や、安全対策、管理動線の確保等、維持管理に配慮し、随所に創意工夫を行ない、作業を実施した。工事の繁忙期には人員の増員を適切に行ない、不測の事態にも対応できる体制を確保した。

以上のように、安全管理と適切な物的・人的対策において、特に優れていた本工事を、優良工事として選定した。

## 13. 久留米市北野中継ポンプ場建設工事

### [工事概要]

久留米市北野中継ポンプ場は、平成22年4月に供用開始した。処理能力は、全体11,200m<sup>3</sup>/日である。

本工事は、3,900m<sup>3</sup>/日処理可能な中継ポンプ場の新設工事である。

### [選定理由]

仮設工の施工については、現場土質条件から、ケーソンの沈下掘削に伴う、地盤の沈下、外部足場の傾きや倒壊が考えられたため、H鋼杭(H300)を打設した足場架台を設け、足場を構築した。足場の倒壊や修正も無く、安全で工程的にも円滑に作業が進んだ。躯体施工については、ひび割れ・漏水対策として、高性能AE減水剤を使用した水密性の高い生コンクリートを用いた。壁部は、ブリージングの低減・ワーカビリティの向上・分離低減等に効果のある添加剤を使用、作業性・強度の安定と耐久性を確保し、綺麗な躯体を構築した。工事施工前の現場状況の把握、適切な調査・提案・施工方法の採用により、工期内に手戻りなく、良好な出来ばえで完成させた

以上のように、難工事の克服と仮設工夫において、特に優れていた本工事を、優良工事として選定した。

#### 14. 宗像市宗像終末処理場水処理設備工事その5

##### 【工事概要】

宗像終末処理場は、昭和 45 年に供用開始している。処理能力は、全体 49,000 m<sup>3</sup>/日、既設 38,000 m<sup>3</sup>/日である。

本工事は、既設第 1 系統の撤去・更新工事であり、更新範囲の能力は 11,300 m<sup>3</sup>/日である。

##### 【選定理由】

稼動既設沈砂池設備を停止せずに、新設の沈砂池設備に切り替えるため、分刻みのスケジュール管理が必要とされた難工事であった。綿密な事前検討を行ない、無事切替作業を終えた。常時汚水が流れる流入管(ヒューム管)の切欠及び流入水路部へのインバート施工には、仮設水中ポンプ・仮設ポンプ用制御盤・仮設配管を設置し、約 1 ヶ月間施工部分をバイパスして汚水を流して工事を行なった。既設ポンプ井から分配槽へ汚水送水する既設吐出管の一部を切断し、新設ポンプ井から分配槽への吐出管を接合する作業では、配管内に常時汚水が流れ、ポンプ停止時間も限定される制約ある作業であった。関連設備停止時間等の詳細なタイムスケジュールを作成し、処理場や他業者との連携し、時間内に作業を終えた。

以上のように、難工事の克服と仮設工夫において、特に優れていた本工事を、優良工事として選定した。

# —記者発表資料—

平成22年11月4日

日本下水道事業団

## (2) 優良設計表彰について

日本下水道事業団（J S）は、当事業団が発注し前年度に完了した基本設計及び基本設計の見直しを含む実施設計32件の中から、総合的品質が特に優れているもの、他、難度の高い設計条件の克服、施設に求められる機能の達成・向上、コスト縮減、周辺環境との調和のいずれかにおいて、設計業者の技術力・創意工夫により優れた成果をあげた設計を毎年度優良設計として選定し、当該設計の受託業者を表彰することにより設計業者の育成及び事業の円滑な推進を図っています。

平成22年度の優良設計は別添資料-3及び4のとおりであり、当該設計業者を日本下水道事業団表彰規程に基づき、平成22年11月9日（火）に当事業団本社において表彰します。

### 【お問い合わせ先】

日本下水道事業団

品質管理センター次長 青木 実

〒160-0004

東京都新宿区四谷三丁目3-1富士・国保連ビル

TEL:03-6361-7836(ダイヤルイン)

FAX:03-3359-6380

別添資料－3 優良設計一覧表

No.	委託団体	業務委託名	工期自	工期至	委託業務料 (税込：円)	設計業者名	担当 設計センター
1	三重県 鈴鹿市	平成20年度 鈴鹿市渚雨水ポンプ場 実施設計業務委託	平成20年12月18日	平成21年07月31日	18,994,500	中日本建設コンサルタント株式会社	東日本
2	広島県 広島市	平成20年度 広島市似島水資源再生センター 実施設計業務委託	平成21年02月28日	平成22年03月15日	12,600,000	日本水工設計株式会社	西日本

## 別添資料ー4 優良設計紹介

### 1. 鈴鹿市渚雨水ポンプ場実施設計業務委託

#### [設計概要]

本ポンプ場は、近年、地域の都市化の進展による流出係数の増大に伴い、渚排水区において頻出している浸水被害の軽減を目的に計画されている処理能力  $4.03\text{m}^3/\text{S}$  の雨水ポンプ場である。

本業務は、新設の上記ポンプ場を築造するための基本設計である。

#### [選定理由]

自然排水路とポンプ排水部が並存すること、さらに河川改修前の暫定河床と改修後の将来河床で河床高が変わるといった複雑な与条件の下で、降雨実態を考察し認可設計を見直すことによるコスト縮減を図ると共に、適切な施設計画及び維持管理計画を立案した。また、ポンプ場外観は、景観条例等に加え、地域の地理的、歴史的背景を十分に考慮したデザインが施され、周辺との調和が図られた。さらに、建設予定地が住宅に囲まれ、隣接道路が狭隘であることに加え、放流先の河川改修(引堤)工事との競合が想定されるという条件で適切な建設計画をまとめた。

以上により、自然的・社会的制約に基づく設計条件を、優れた技術力により克服し、コストの低減に優れ、周辺環境との調和に十分配慮した本業務を、優良設計として選定した。

### 2. 広島市似島水資源再生センター実施設計業務委託

#### [設計概要]

本処理場は、広島港の南約3kmに浮かぶ「似島」にあり、処理人口1,100人、処理能力 $600\text{m}^3/\text{日}$ の膜分離活性汚泥法の処理場である。

本業務は、新設の上記処理場を築造するための基本設計である。

#### [選定理由]

カキ養殖等放流先への影響や狭隘な敷地条件、維持管理性及び経済性などを考慮し、水処理方式及び汚泥処理方式を適切に選定し、成果を残した。また、下水道イメージアップの観点から、施設のデザイン性についても、委託団体と十分協議を行い、優良なデザインを提案し、委託団体から高い評価を得た。

以上により、自然的・社会的制約に基づく設計条件を克服し、周辺環境との調和に十分配慮した本業務を、優良設計として選定した。

# —記者発表資料—

平成22年11月4日

日本下水道事業団

## (3) 功労者表彰について

日本下水道事業団（JS）は、当事業団の事業の発展に貢献された個人及び団体に対し、毎年度感謝の意を表することとしています。

本年は、長年にわたりその功績が顕著な個人33名（別添資料参照）を日本下水道事業団表彰規程に基づき、平成22年11月9日（火）に当事業団本社において表彰します。

### 【お問い合わせ先】

日本下水道事業団

経営企画部人事課長 松田 英雄

〒160-0004

東京都新宿区四谷三丁目3-1 富士・国保連ビル

TEL:03-6361-7813(ダイヤルイン)

FAX:03-3359-6363

【外部功労者】 33名

氏名	主な経歴	受賞理由
すわだ まさみ 諏訪田 正美	前 札幌市厚別区土木部長	長年事業団の業務に御貢献
たけち ひろあき 武智 弘明	前 北海道監査委員事務局技術監査課長	同上
やまもと しゅうぞう 山本 修三	前 千葉市下水道局建設部長	同上
いとう ひろし 伊藤 博	前 東京都下水道局中部下水道事務所長	同上
うだがわ たかゆき 宇田川 孝之	前 東京都下水道局理事	同上
おおさわ まさじ 大澤 雅二	前 川崎市建設局下水道部長	同上
きむら かずまさ 木村 一政	元 川崎市建設局下水道部長	同上
つちや まさとし 土屋 雅敏	前 大垣市水道部長	同上
まみや たかし 間宮 孝	前 静岡市上下水道局下水道部長	同上
さかもと ひろし 坂元 裕	前 愛知県尾張建設事務所企画調整監	同上
きむら さぶろう 木村 三郎	前 名古屋市緑政土木局理事(道路・河川担当)	同上
こうむら しげなお 紅村 重直	前 名古屋市会計管理者	同上
おがわ けんいち 小川 健一	前 一宮市上下水道部長	同上
なこじ しげやす 名古屋路 重保	前 瀬戸市都市整備部長	同上
すぎうら けんべい 杉浦 賢平	前 豊田市上下水道局次長	同上
うえだ せんたろう 上田 仙太郎	前 大津市建設部下水道事業長	同上
こいずみ かずひで 小泉 和秀	前 京都府建設交通部京都土木事務所長	同上
おざわ かずお 小澤 和夫	前 大阪市建設部東部下水道管理事務所長	同上
くすもと みつひで 楠本 光秀	前 大阪市建設局南部下水道管理事務所長	同上
ふじい としひで 藤井 俊秀	前 (財)兵庫県まちづくり技術センター常務理事	同上

氏 名	主 な 経 歴	受 賞 理 由
いのうえ ひろあき 井上 博明	前 神戸市建設局下水道河川部長	長年事業団の業務に御貢献
たけなか きょうぞう 竹中 恭三	前 神戸市都市整備公社下水道事業運営部長	同上
さかもと まさお 坂本 正夫	前 鳥取市環境下水道部長	同上
むらた ようすけ 村田 洋介	前 岡山県備前県民局建設部長	同上
みかき ちあき 三垣 千秋	前 岡山市下水道局総括審議官	同上
なかがわ いつみ 中川 逸実	前 倉敷市企画財政局参与	同上
ひがしもと つよし 東本 剛	前 赤磐市建設事業部下水道課長	同上
ふじおか けんじ 藤岡 謙治	前 広島県西部建設事務所次長	同上
おぎた ゆたか 荻田 豊	前 観音寺市建設部長	同上
ふじまる まさし 藤丸 正司	前 北九州市建設局下水道河川部長	同上
くろだ ひでとし 黒田 英俊	前 福岡市財政局理事	同上
こまつ ひでたか 小松 英隆	前 福岡市道路下水道局下水道施設部長	同上
おがた きいち 緒方 喜一	前 福岡市道路下水道局水環境整備部事業調整課長	同上